

自由研究 どうしよう...



自由研究を始める前に

自分の興味を広げ、深めることが一番大切です。「興味があるから、答えを探し求める」興味がなければ、何も始まりません。子どもが何に興味を持っているのか、子どもと話しをしながら、刺激を与えてやってください。そこから子どもの能力が大きく広がっていきます。



小学生が取り組む夏休みの宿題と言えば、実験や工作などの「自由研究」がまっさきに思い浮かびます。毎年、テーマを決めるのに四苦八苦したりするものですが、そもそも「自由」な研究とはどんなものなのでしょう。学校が考える自由研究の意義について、野村先生にお話を伺いました。



保護者の方自身もそうであったと思いますが、夏休みなどの自由研究は、毎年何をするか悩ましいものですね・・・
低学年の頃は、何をしようかと、親子で悩む事にも意義があるのではないかと思います。自分の子どもは果たしてどのようなものに興味を持っているのか、わが子に近づくチャンスがそこにあります。
興味のある分野が見つかったら、事前に調べ、追求してみるのもよいでしょう。親子で作ったり、実験したりしながら、学び作り上げていく楽しさを味わい、その価値を体験できるのも自由研究ならではです。
学校や先生が考える、自由研究に取り組む意義はなんですか？
夏休みは、自由に使える時間をたくさんもてます。この時間を上手に使って自分のやりたいことにじっくり取り組める学習として自由研究があります。時間を自分で使うことができます。学校以外の施設も利用してゆつくり調べたり、観察・実験したりできます。自分で学び考えたことをもとに、これからの自分の生き方を考える機会が作れます。
今後、我が校の児童にはどんな自由研究を期待しますか？
まず、自分の興味を広げたり深めたりする機会として、自由研究に取り組んでもらえたらと思います。保護者の方にとっても親子でのいい思い出になるかも知れません。

2019年自由研究 受賞作品ご紹介(姫路市)



●調査研究の部 金賞受賞作品(タイトルのみ)

- 「月と友だちになろう!パート2」(小学2年生)
- 「食用の身近な魚のウロコの研究」(小学3年生)
- 「絶滅危惧種タガメの「命」をつなぐ」(小学4年生)

- 「水の浄化大作戦2019～川や海の生き物のために～」(小学5年生)
- 「出会った虫達パート3」(小学6年生)
- 「太陽集光装置の製作とその応用研究」(中学2年生)
- 「電車好きが電車を動かす装置を作ってみた。(再現工作)」(中学3年生)

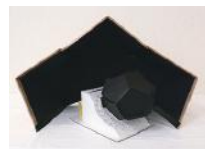
●科学工作の部 金賞受賞作品



さんぽオルゴール
(小学3年生)



僕のピタゴラスイッチ
(小学2年生)



キラキラ光る
プラネタリウム
(小学5年生)